

会議録

会議の名称	令和7年度第4回西東京市立保谷第一小学校建替協議会
開催日時	令和7年11月4日(火曜日)午前10時から
開催場所	防災センター6階 講座室2
出席者	<p>【委員】 原会長、高橋副会長、稻澤委員、吉村委員、中野委員、阿部委員、 笹森委員、牛村委員、倉内委員、伊藤委員、藤江委員、児玉委員</p> <p>【事務局】 飯島副参与兼教育企画課長、鈴木教育企画課企画調整係長 中屋教育企画課企画調整係主査、淺水教育企画課企画調整係主任 関澤教育企画課企画調整係主任、木藤教育企画課企画調整係主任</p> <p>【傍聴人】 1人</p>
議題	議題1 第2回会議の会議録について 議題2 特別支援学級について 議題3 保谷第一小学校建替えに係る整備諸室等について 議題4 保谷第一小学校建替えに係る敷地内施設配置について 議題5 在校児童向けアンケートの集計結果について 議題6 将来像・建替えコンセプトについて(グループワーク) 議題7 その他
会議資料の名称	資料1 特別支援学級の設置について 資料2 保谷第一小学校建替え後の必要諸室等一覧(案) 資料3 保谷第一小学校建替え後の敷地内施設配置図(想定) 資料4 あたらしい学校のアンケート(在校児童向け)集計結果 資料5 保谷第一小学校の将来像・建替えコンセプトの検討について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<開会>	
議題1 第2回会議の会議録について 第2回会議の会議録内容について、各委員に異議がないことを確認し、承認。	
議題2 特別支援学級について ○事務局 (資料1について説明)	
○会長 事務局より、特別支援学級について説明があった。各委員より意見・質問等を伺う。	
○副会長 市としての方向性は承知した。保谷第一小学校には、現在特別支援教室の拠点校の機能があり、特別支援学級と併せて管理していくとなると、教員数も増え、学校運営を考えたときにかなりの負担が予想される。保谷第一小学校に特別支援学級を設置する場合、特別支援教室の拠点機能をもつ学校は別の学校にすることも含め検討いただきたい。	

○事務局

西武池袋線の北側に特別支援学級の設置がないことや、東小学校の教室不足等、地域のバランス等を考慮して特別支援学級併設の方向性を示したが、管理運営の観点や子どもたちの負担、諸室の面積等を踏まえ、拠点校や学級の平準化などは柔軟に対応していきたいと考えている。

○委員

教員ヒアリングには、特性の変化による転学とあるが、特別支援学級での学級間の移動や、特別支援教室から特別支援学級への移動などはどれくらい起こり得るのか。

○事務局

現状、特別支援教室や特別支援学級適と判定が出ても、保護者の判断によることとなるため、実態として、移動が起こる判断が難しい部分もある。国の資料においても、障害の有無に関わらず、多様性の観点から今後も対象児童は増えていくことが見込まれているため、どんな状況にも対応していく必要があると考えている。

○委員

考え方理解した。

拠点校になると負担が大きくなることは理解できるが、施設面では集約した方が効率的と考えられる。集約して、管理運営面では学校から切り離して教育委員会で管理することはできないのか。

○副会長

現状でそのような取組を実施している学校はない。特別支援教室の職員が教員であることから、校長・副校長が中心となって管理・指導を行う必要がある。教育委員会で管理することは想定できない。

○委員

必要諸室の中にエンカレッジルームがあるが、通常学級以外のクラスの運営を学校の管外で行っている自治体の事例があるため、同じ方法が可能かをお聞きした。

○会長

本市でも、保護者や子どものニーズにより特別支援学級から通常級に転学した事例がある。あくまでも保護者の判断で様々な選択がされている。

拠点校と A・B 学級を一つの学校で運営することは厳しいのではないかとのご意見があり、また、拠点校と A・B 学級を併設している学校は、本市にはないと確認した。

議題3 保谷第一小学校建替えに係る整備諸室等について

○事務局

(資料2について説明)

○会長

事務局より、建替えに係る整備諸室等について説明があった。

今回資料にある諸室については、現時点での案であること、教育施設のみの記載になっているという認識で良いか。

○事務局

複合施設は本資料に含まれていないため、本日の会議では、学校施設部分について議論いただきたい。学童クラブなどの複合施設については、市長部局で検討を進めており、進展があれば報告を行う。前回の視察などを踏まえ、諸室の広さの妥当性や使い勝手などご意見をいただきたい。

○会長

各委員より意見・質問等を伺う。

○委員

部屋によっては実質狭くなっているところがある。児童数の推計も勘案されていると思われるが、今後の学習指導要領の改訂なども見据え、視聴覚室や図書室の一体的な整備など、今後どのように使用していくかで諸室の面積が変わってくると思われる。その辺りの想定などはあるか。

○事務局

建替え後の諸室の面積については、設計上コマ単位で計算しているため、現状よりも狭くなる教室が出てくる状況にある。しかし、学習に影響がある場合は、拡大する必要があると認識しているため、ご意見をいただきたい。また、1室当たりの面積が減ったとしても、複数の教室を一体的に使用する方法も施設の活用方法としては有用であると考えている。

○委員

1教室あたりが広くなることは良い。探究的な学びや非認知能力の育成に向けて教室に限定されない学びの場として多目的スペースやランチルームなど、これまでにない部屋の設置などは優れている点であると感じる。

○委員

先日の視察の中でラウンジができたことが子どもたちから好評だったと認識している。多目的スペースはどのようなものか。活用の想定などあるか。

○事務局

視察の際に、教室と教室の間にあったスペースが本資料の多目的スペースとなることを想定している。

○委員

2学年に1つの多目的スペースが想定されるのか。1フロアに1か所配置されるのか。

○事務局

4階建ての建物を想定しているが、2階以上の各フロアにおいて、普通教室と併せて多目的スペースや少人数教室の設置を想定している。

○委員

視察した学校では、図書室は従前と変わらない印象を受けた。新しい学校の図書室は区画されていない開かれたスペースで工夫のある図書室になったら良いと思う。

○事務局

必要な部屋だけでなく、上履きを脱いでくつろぎながら本が読める環境など、使い方などの様々なご意見をいただきたいと考えている。

○委員

図書室について、栄小学校では、こあがりの部分が畳になっている。それが非常に子どもに好評であるため、新しい学校にも設置いただけると良いと思う。

○副会長

特別教室で、外国語指導の教室の必要性を検討する必要がある。また、多目的スペースが廊下と一体的なオープンスペースであるならば、現状の多目的ルームが学年の集会や保護者会などで利用しているため、別に小ホールなどがあると良いと考える。そのほか、近年職員室の面積が増えている。働き方の観点からも職員室の面積に休憩室が含まれる場合は、その旨記載した方が良い。

○事務局

外国語指導の教室については、事務局でも必要性について検討する。

集会等に使用する小ホール（多目的室）についても他自治体の事例を含め、どのように使用するか、他の諸室と一体的な利用とするのかなどご意見いただきたいと考えている。

休憩室についても先進自治体では整備している事例が見受けられるため、今後表記の仕方についても検討していきたいと考えている。

○委員

学校施設開放運営協議会管理室は複合施設の方に含まれるか。

○事務局

学校施設開放運営協議会管理室は教育施設に含まれるが、現時点での設置想定はない。

○委員

学校施設開放運営協議会管理室は、1階部分の校庭が見える場所などに設置していただきたい。現在の管理室は、校庭の遊具の場所から遠いため、近くで見守りながら事務ができると良い。

○事務局

諸室の配置については、検討しお示ししていく。

○委員

視察先では、地域の意見から備蓄倉庫が屋内運動場の近くに配置されていたが、保谷第一小学校は屋内運動場の近くに備蓄倉庫を配置するのか。

○事務局

備蓄倉庫の配置については、分類として複合施設に含まれるため、今後お示ししていく。

○会長

現在、保谷第一小学校の学級数は19学級である。新6年生は、あと1人えると4学級になり、来年度は学級数が20学級になることも想定される。学区域の未就学児の、ほぼ全員が本校に入学している現状を考えると、通常学級数を最大18学級とする建設計画で大丈夫なのか、不安もある。将来的な児童推計を基にしていると思われるが、整備した後に教室数の不足を諸室の転用で補うことは防ぎたいと考えている。

○事務局

普通教室の部屋数は、事務局で推計を行い、今後最大で18部屋と想定される結果となつたため、そのように設定している。新校舎建設までには、まだ期間があるため、今後も推計を行う中で変化があれば対応していきたい。

○委員

マンション建設等の可能性を考えると余裕を持たせた教室数にすることが望ましい。多目的スペースなどを教室として代用すると本来の目的で利用できなくなってしまうことが想定される。

○事務局

市の人口推計を基準にしているが、今後も状況を注視し、対応していきたい。

○会長

委員からの話に関連して、学力テスト等では数値化できないが、子供の成長、自己実現にとって欠くことのできない力として、非認知的能力の重要性がクローズアップされている。今後の建替えコンセプトでもそのようなことを考慮し、検討していければ幸いである。

○委員

教育相談室は、スクールカウンセリングなどにも使用することができるのか。

○事務局

そのような活用も想定される。

議題4 保谷第一小学校建替えに係る敷地内施設配置について

○事務局

(資料3について説明)

○会長

事務局より、建替えに係る敷地内施設配置について説明があった。各委員より意見・質問等を伺う。

○委員

新校舎の位置を踏まえるとピョンちゃんの取扱いはどうなるのか

○事務局

ピョンちゃんについては、子どもたちや地域の方に大事にされているため、残す場合には、移設を検討していきたいと考えている。

○委員

新校舎建設中は、校庭が利用できないが、体育の授業などはどうするのか。

○事務局

工事期間中に校庭がどの範囲で使用できなくなるのか現時点での判断はできないが、新校舎建設や旧校舎解体の期間中は使用制限がかかることが想定される。

現在、校庭の代替として、健康広場を想定しているが、利用している団体の方もいるため、今後調整していきたいと考えている。

○委員

15分休みなど短時間の休みの際には、校庭の利用が難しくなるのか。

○事務局

校舎建設中の校庭の利用範囲は、複合施設を含めた校舎の規模や隣地との境界などを考慮する必要があるが、子どもたちの安全を第一に考え、不安がないような対応を検討していきたい。

○委員

校庭が北側になることにより、日が当たらないことで水たまりができる、冬場は凍結などが懸念される。その辺りは南側校舎で問題ないか。

○事務局

活動に制限がかかるような舗装材を使用していきたい。

○委員

現在、プールはマンホールトイレの水源となっているが、先にプールを壊すとなると水源はどのように考えているか。

○事務局

地域の消防水利などを含め、防火水槽で対応していきたいと考えている。

○委員

正門や通用門など、校門はどのような配置になるのか。

○事務局

今後、複合施設も含め、様々な方が学校の敷地に入ってくることが想定される。門の種

類や数など、セキュリティ面等を考慮し検討していきたい。

○委員

敷地内の緑化については、まとまって必要なのか。分散も可能か確認したい。

また、今後は日が当たりすぎないことが望ましいため、南側校舎であることで日陰ができるのは良い。併せて植栽等の工夫により日陰部分が増えることは良いと考えるが、安全面からは視認性の問題につながる部分もあるため、緑化はどのように考えるべきかお聞きしたい。

一方で、教室内への日当たりが懸念されるが、教室内の温度上昇への対応が必要になると感じる。屋外の空気の流れが気温の上昇にも影響すると考えられるため、通気性の良い校庭であることが必要と感じている。

○事務局

緑化については、敷地内全体で 1,700 m²が必要と捉えている。緑化を一か所にまとめて行うことも考えられるが、目隠しや砂埃を予防する目的もあるため、具体的には今後設計の際に考えていきたい。室内の暑さ対策についても対応を行っていきたいと考えている。屋外の空気の流れについても調査研究していきたい。

○委員

周囲は低層の家や畠、道路であるため、校舎が学校周辺の空気の流れを遮ることがないようにした方が良いと考える。

○委員

校舎は北側が良いと考える。子どもたちが 1 日中蛍光灯の光を浴びると、太陽の光を浴びるのでは、身体のリズムが変わってくると思われる。また、南側が畠となっているがマンション等が建設された場合、校舎が日陰になることも考えられる。

エリア的に畠が多いが、今後も畠の状態が継続されないことも想定する必要があると考える。

○事務局

校舎の位置や教室の配置については、それぞれメリット・デメリットがある。今回いただいた意見を踏まえ、事務局でも検討を行っていきたい。

○委員

プール廃止の理由を教えていただきたい。

○事務局

近年、暑さにより水泳の授業が実施できないことが多くなっている。効率的な運営、施設の有効活用のため、将来的には中学校に屋内温水プールを整備し、近隣の小学校は中学校のプールを利用する想定でいる。近隣の青嵐中学校は屋内プールだが、温水ではない。屋内であることから、屋外プールよりも長期間の利用ができるため、プール解体後は青嵐中学校のプールを利用するか、或いは、ひばりヶ丘駅付近の民間プールの利用を検討していきたいと考えている。

○会長

仮設校舎を整備しない方が望ましいとの説明があったが、その理由を教えていただきたい。金銭面の部分もあると思うが、長い期間使用する校舎なので、憂いがないようにしていきたい。

○事務局

仮設校舎については、校庭の使用制限が伸びることや環境が短期間で変わることにより、子どもの引っ越しの負担等が発生することが懸念される。このような理由から仮設校舎は整備しないことが望ましいとしている。

議題5 在校児童向けアンケートの集計結果について

○事務局

(資料4について説明)

○会長

事務局より、在校児童向けアンケートの集計結果について説明があった。意見・質問等を伺う。

○委員

本アンケートは、非常に興味深い結果であった。子どもたちの充実した学校生活をおりたいという想いが伺えた。今後の設計の段階でも共有をしていただきたい。

学年別の集計は行ったか。

○事務局

現時点では学年別の集計は行っていないが、クロス集計を行うことは可能と考える。

○委員

低学年と高学年では、ニーズも異なるため、学年別の集計を行った方が良い。校庭や体育館だけではなく、屋外の小さいスペース（芝生・小川・池）のニーズを確認しても良いと感じた。

議題6 将来像・建替えコンセプトについて(グループワーク)

○事務局

本日、初見の資料が多く、限られた時間の中で闇達なご意見をいただいた。

将来像・建替えコンセプトも重要な検討内容となるが、本日は時間の関係もあり、次回に見送らせていただきたいがいかがか。

(了承)

次回は本日いただいた意見などを考慮し、複合化の検討状況などもお示ししていきたいと考えている。

議題7 その他

○事務局

本日の議事要旨はこれまでの会議と同様、後日メールで送付させていただき、委員確認後の会議で了承を得て公開する。

次回は11月20日の夕方を予定している。詳細については改めて連絡する。

<閉会>